

学校教育方針		中・長期目標					
定通の和を尊び、理想の追求を象徴する校章と校歌に示された精神をもとに、 1. 知性の涵養 2. 品性の陶冶 3. 心身の練磨を目的とする。		「心あらたな学び直し」、「限られた時間を活かしての学び」、「働きながらの学び」を願う生徒が、安心して学習し、社会の一員として生きる力を育成する。					
		今年度の重点目標					
		1	いじめや暴力を絶対許さない安心安全な学校をつくる。	2	挨拶に始まるコミュニケーション力と社会性を育てる。	3	わかる授業・伸ばす指導を工夫して基礎的な学力を定着させる。
分野	重点項目	評価の観点	評価	成果と課題	改善策		
安心安全な学校づくり	規範意識・安全意識・社会性を育てる	1	生活アンケートや諸調査を通して、生徒の内面の理解に努めるとともに適切な生徒指導ができたか	B	夏休み前、また年次ごとにアンケートを行い、実情把握に努めた	LHRの年間計画に面接やアンケートの時間を組み入れる	
		2	盗難や交通事故、人間関係トラブル等から身を守る行動をとれるように指導できたか	B	盗難や喫煙件数が大きく減ったが、自転車事故は減少しなかった	自転車保険の加入率を上げるため、新入生ガイダンスで加入の必要を伝える 今年度並みに巡視をお願いする	
		3	「自分から挨拶」「話を聴く」「話を聴いてもらえる」ことを通して、受容感や自己効力感が高められたか	A	集会等では話す人に注目し聴く態度が向上している。挨拶も自分からは今一歩だが、返す姿が多く見られている	今後も教員から挨拶、生徒会で挨拶を大事にする校風を作っていく方向で、家庭や地域にも伝えていく	
	カウンセリングマインドの獲得	4	いじめ・体罰の根絶に向けて定期的に点検ができたか	B	生徒を観察する中で、小さなうちにトラブルに対処し、大事に至らず対応できた	LHRの年間計画に面接やアンケートの時間を組を組み入れる	
		5	生徒の変化や小さな気付きを職員間で共有するとともに、SC(スクールカウンセラー)や外部機関との連携ができたか	B	保健室や相談室から情報が発信されSCに繋げることができたが、職員間で情報や手だての工夫等を共有できるとよい	気になる生徒の情報を関係職員で共有し合える時間を定期的にとり、事故報告の時に顔写真で情報共有をする	
	学校生活支援	6	生徒が見通しをもって安心して生活できる学校生活を提供できたか	A	昇降口のホワイトボードやメール配信、担任の工夫等で予定を確認し見通しをもって生活している生徒が増えている	今後も日程変更を極力少なくし、生徒自ら予定を確認していけるよう意識付けを行う	
		7	SSTや卒業生の話を通して、生徒自らコミュニケーション力の向上に取組めたか	B	毎回のふりかえりから、参加生徒においてはSSTの重要性の認識が高い	グループワークが苦手な生徒が多く、段階的に学習を工夫し、普段の生活に活かせるように声かけをしていく	
社会性を育てる自主活動の充実 キャリア教育の推進 進学・就職指導の強化	生徒の自主的な活動の充実	8	生徒が生徒会活動に積極的にかかわり、独自の活動計画を立てられたか	B	文化祭以外でも、あいさつ運動、通信、生徒会誌発行など各委員会でも活動できた	より多くの生徒が関わられるように指導を工夫する	
		9	多くの生徒が部活動に加入し、活動内容を充実させることができたか	C	加入率の向上は見られなかったが、加入している生徒は全国大会出場等充実した活動が行われている	機会あるごとに活動を紹介し、関心を高めていく	
		10	本校に合った文化祭のスタイルを創り出し、生徒の力で実行できたか	A	経験ある役員、職員の援護により充実した企画数も多かった	よりよい文化祭ができるよう、準備のための時間の確保等検討する	
	キャリア教育の推進	11	進路ガイダンスや体験学習により生徒のキャリア意識を高めることができたか	B	事前・事後指導に力を入れ計画的に実施できたが、段階的に学びを深めていくことが課題である	進路指導の実践をキャリア教育の視点で捉え、体系的なキャリア教育を行う	
		12	新たな取り組みの実践により「人間力」を伸ばす工夫ができたか	B	学年企画としてHR活動の中で生徒の実態に応じた学びができた	特別活動や授業との関連を図り、新たな取り組みとして課題研究を導入する	
	進学・就職指導の強化	13	進学や就職に関わる情報を適切に伝えることができたか	B	職員間での共有は昨年度より向上した1年次で就職と進学の違いなどを理解させる場があると良かった	早い段階からの生徒への進路意識の向上を目指し、各年次と協力して実践する	
14		生徒の自己理解と保護者の願いを大切に、就労移行支援を含め適切な指導ができたか	B	生徒の実態に応じて保護者と連携を取りながら実習等を多く経験させることができた	特別支援の進路について、担当職員を増やし、福祉就労の内容や手続きの研修を行う		
わかる授業の実践 伸ばす指導 学習指導の工夫	わかる授業の実践	15	生徒による授業評価やユニバーサルデザインを意識した授業づくりができたか	A	丁寧な板書、視覚支援を取り入れる等、圧迫感のないわかりやすい授業の工夫ができています	教員同士互いの授業を普段から見学し合い、各自の意識を高める	
		16	生徒の実態を踏まえてカリキュラムの研究や授業改善を進めることができたか	B	様々な生徒に対し、できるだけ個々の対応をしながら、生徒の意識や知識をもとに素材の教材化につとめた	日ごろから互いの授業を見学し合い、授業改善を図る。各教科の指導方針を明確化する	
		17	基礎学力テスト・ドリル学習等の取組を通して基礎学力の充実を図れたか	C	議論を重ねたが、今年度のカリキュラムに生かすまでには至らなかった	職員の意思統一を図り、具体的な実施方法について検討する	
	伸ばす指導	18	個別指導や補習・模試などにより上位層の学力を伸ばすことができたか	A	くれき野学習会の一環として、信大生による放課後補習を導入により進学を意識する生徒に大きな影響を与えた	信大生による補習を継続する 進学を意識する生徒は2年次から模試を受けるような雰囲気作りを行う	
		19	アクティブラーニングを意識した授業づくりを進めることができたか	B	丁寧な事前の準備により、生徒の実情に合わせた授業実践の取り組みが見られた	生徒の実態を把握し、安心して話せる、書くことができる授業環境を整え、段階を踏んだ指導を実践する	
開かれた学校づくり	情報発信力の強化	20	HPなどを通じて、地域や社会に向けて学校情報を積極的に発信できたか	B	通常のHP更新については迅速にできたが、新しい取り組みができなかった	積極的な取材依頼やHPの活用を推進するためのシステム作りを行う	
		21	公開授業や学校説明会を工夫し、本校の特徴を十分に伝えられたか	B	プレゼンテーション資料を作成し、学校の特色をわかりやすく説明することができた	学校からの説明だけでなく、授業に参加できるような形式の検討を行う	
		22	街路清掃等の実施により地域の環境美化に貢献できたか	B	生徒による2回の校外清掃に加え、職員による年間を通じ取り組むことができた	年間を通して地域の環境美化に貢献できるように、委員会等を活用した取り組みを計画する	
	地域連携	23	地域の人材や教育資源を活用することができたか	A	例年の人材活用・教育資源の活用に加え、年次単位で新たな活用の取り組みを行うことができた	地域の方々を講師として協力いただくために、人材バンクの活用等情報入手の幅を広げる	
		24	聴講生の受け入れやパソコン講座の公開により生涯学習の場を提供できたか	A	一年を通じて聴講生の受入を行い、新たな科目として書道、美術を加えることができた	参加者がどんな講座を設置して欲しいかの希望を探り、開講講座を検討する	